

# 説 明 会 報 告 書

令和3年4月22日

会議の名称	市民会館・市民体育館再整備に関する説明会
開催日時	令和3年3月22日（月）午後2時00分～午後2時32分
開催場所	総合福祉センター 1階 ホール
参加者数	6名
出席市職員	松永市長公室長、村山市民生活部長、北村教育政策部長、外立秘書政策課長、浅見公共施設マネジメント推進室長、松田公共施設マネジメント推進室副室長、深町公共施設マネジメント推進室副室長、松井市民活動推進課長、山本生涯学習課長 (計 9人)
説明員職氏名	深町公共施設マネジメント推進室副室長 (計 1人)
議 題	市民会館及び市民体育館再整備基本計画策定に係る整備手法比較・評価について
事務局職員職氏名	平間公共施設マネジメント推進室主任、斉藤公共施設マネジメント推進室主任、野口市民活動推進課主幹、中原生涯学習課副課長
その他必要事項	

## 会議内容の記録（会議経過、結論等）

### 1 開会

深町公共施設マネジメント推進室副室長が開会を告げる。

### 2 出席者の紹介

深町公共施設マネジメント推進室副室長より、出席者の紹介を行った。

### 3 説明事項

深町公共施設マネジメント推進室副室長より、市民会館及び市民体育館再整備基本計画策定に係る整備手法比較・評価について説明を行った。

## ○概要説明

### （1）志木市の公共施設マネジメントの現状について

- ・市民会館及び市民体育館を含む志木市の公共施設については、平成27年に策定された「志木市公共施設等マネジメント戦略」（以下「マネジメント戦略」という。）に基づき、計画的な維持・更新等を行うとともに、財政的な負担の軽減・平準化等を図っていくことが必要である。
- ・マネジメント戦略では、公共施設及びインフラの今後の更新に必要な費用が年間約9億円程度不足すると試算しており、コンパクトな市域であること生かした施設の集約化や複合化、民間事業者との連携などにより、サービスの低下をさせないよう配慮しつつ、公共施設の総量を削減する方針である。

### （2）市民会館及び市民体育館再整備基本計画策定に係る整備手法比較・評価について

- ・市民会館及び市民体育館の整備手法としては、「①耐震化」、「②現地建替え」、「③いずれかの用地で複合化」の3種類を比較・評価した。また、評価項目としては、「①施設の機能性」、「②コスト」、「③立地・土地利用規制等」、「④政策との整合」の4つを設定した。
- ・評価を行った結果、「市民会館用地での複合化」が最も評価が高く、市の政策との整合性や、防災拠点としての機能確保、まちなかのにぎわいづくりへの寄与など、複合化の意義も踏まえ、判断したところである。

### 質疑応答

市民：複合化した場合、市民体育館下の調整池の機能についてはどうなるのか。

職員：どのような整備手法になるとしても、現在と同様の機能を維持していきたいと

考えている。

## 5 閉会

深町公共施設マネジメント推進室副室長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。